

【北海道立北見病院 呼吸器内科】

1. 概要・特徴

内科全般の研修と同時に生命に直結する呼吸器診療に携わり、呼吸器疾患全般にわたり、診断から治療、さらには終末期医療なども経験してもらう。特に、本年度より気管支内視鏡検査ができる病院がオホーツク圏で当院のみになったため、気管支鏡検査数が増加した。さらに、新規に超音波気管支鏡下針生検(EBUS-TBNA)を導入し、従来のガイドシース併用気管支鏡腔内超音波断層法(EBUS-GS)と組み合わせることにより診断率が向上した。また、肺癌抗がん剤治療も入院治療可能病院が当院のみとなり、様々なレジメンを用い、適切な治療を提供している。

2. 一般目標

- 1) 呼吸器科領域の基本的な臨床知識を習得する。診断に必要な問診・診察・検査を行えるようにする。
- 2) 各疾患に対する薬物療法・化学療法を理解し、指導医の指導のもと、適切に対応できることを目標とする。

3. 行動目標

- 1) 患者の病歴聴取とカルテ記載ができる。
- 2) 呼吸器疾患の診断に必要な全身・胸部の診察ができる。
- 3) 診断に必要な検査を選択し、実施できる。
- 4) 疾患毎に病態から適切な治療法を選択し、その治療を指導医のもとで実施できる。
- 5) 終末期における麻薬による疼痛コントロールや看取りについて経験する。

4. 方略

- 1) 呼吸器内科チームの一人として、指導医・専門医の指導のもと、外来・入院患者の診察に当たり、患者への対応方法・病歴聴取・診察方法を習得し、各疾患への理解を深める。
- 2) 毎朝・夕の症例カンファレンスと回診で、入院患者の病状把握に努める。また、SOAP に沿ったカルテ記載を習得する。
- 3) 呼吸機能検査値の解釈や胸部レントゲン・CT の読影、及び、気管支鏡検査の手技を習得する。また、PICC カテーテルや、胸腔ドレーンの挿入手技も習得する。
- 4) 患者に合わせた肺がん化学療法の選択とその合併症・副作用について理解する。

5. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	8:30 入院 CF 病棟回診				
午後	病棟回診 気管支鏡検査	病棟回診 気管支鏡検査	病棟回診 気管支鏡検査	病棟回診 気管支鏡検査	病棟回診 気管支鏡検査
夕方	日赤外科との CF				

*気管支鏡検査や PICC・胸腔ドレーンの挿入は症例がいた場合

6. 指導体制

指導責任者:呼吸器内科部長;小笠寿之(日本内科学会指導医、日本呼吸器学会指導医)

指導者:医師;志垣涼太(日本専門医機構認定内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医)

7. 評価方法

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に準ずる